

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活用することで、グループホームの事をよりよく知ってもらう取り組みを行う。	運営推進会議を地域でのホームの事を知ってもらう手段として活用する。	①地域の代表者(自治会の役員等)の運営推進会議の趣旨を説明し、参加を促進する。	12ヶ月
2	26	モニタリングが職員協働でできなかった。担当者会議も家族とケアマネジャーとのみ行われていた。	モニタリングを職員協働で行い、より利用者の状況を知り、より良いケアを目指す。	①モニタリングを職員と共同で行う。 ②担当者会議に担当職員ができるだけ参加できるようにする。	12ヶ月
3	10	家族からの要望、意見には対応しているが、より意見、要望が出やすいような方策が実施されていない。	日常の電話、面会時のだけでなく、家族会の開催により、より意見交換ができる場を提供する。	①家族会の設立、定期的な開催。	12ヶ月
4	35	防災訓練は実施されているが、近隣住民や地区の消防団の参加等は行われていない。	年2回の防災訓練は実施継続し、地区の消防団や近所の方の参加を図る。	①ホームの防災訓練に消防団や地区への呼びかけを行い、参加を図る。 ②地区の避難訓練参加を行う。	12ヶ月
5	5	市への必要時の連絡だけでなくより連携できるような取り組みを行う。	必要時だけでなく、訪問時にホームの便りを配るなどのホームの活動を知ってもらうようにする。	訪問時の便り、行事の案内を行う。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。